



概要

顧客

Hunterdon Healthcare

課題

患者 ID が異なっても入院患者データと外来患者データを統合する

成果

入院患者記録と外来患者記録を HealthShare Patient Index でマッチングし、患者データの統合ビュー、他の医療機関とのジョイントベンチャーを実現し、情報の流れを改善

Hunterdon Healthcare + インターシステムズ

Hunterdon Healthcare が、HealthShare Patient Index を活用して患者ケアの統合ビューを実現

米ニュージャージー州中部にある病床数 178 の教育実習病院、Hunterdon Healthcare では、選り抜きの IT システム群を使って業務を運営していますが、このようなシステム環境を持つ医療機関に共通する課題を抱えています。これらの IT システムには、電子医療記録 (EMR) アプリケーションのほかに、およそ 100 のアプリケーションも含まれます。Hunterdon は、統合エンジンと、病院登録アプリケーションの一意の患者 ID を使用して、入院患者システム間でデータを共有し、同期させています。しかし、同医療機関が保有または提携する 60 以上の外来施設では別の臨床 EMR を使用しており、そこでは異なる患者 ID が割り当てられています。

時間の経過や、連絡先情報の変更、情報の欠落、スペルミスなどのデータのミスによって、入院患者記録と外来患者記録を同じ患者にマッチングするのが困難になる場合があります。これは、医療スタッフや IT スタッフに多大なコストを伴う影響を与える可能性がある課題です。Hunterdon のデータ統合担当マネージャーの Robin Deal 氏と、HIE および接続担当マネージャーの Jagdish Patel 氏は、この問題に対処するためのソリューションをインターシステムズに求めました。

ある病院では、全患者記録の 22 パーセントに重複が見つかりました。1 件の重複あたり 96 ドルの修正コストがかかりました。¹

HealthShare Patient Index で重要な取り組みの進捗が加速

Hunterdon では、患者 ID の不整合が原因で、次の取り組みをはじめとするさまざまな分野の進捗が滞っていました。

- 入院患者データと外来患者データを 1 回のログオンで完全に表示する
- 別の医療機関と共同で放射線画像診断センターを設立する
- 救急診療部 (ED) や入院患者臨床医に、外来患者の疼痛管理履歴に関するアラートを確実に通知する

Hunterdon は、こうした取り組みを実現するために、EMPI (エンタープライズマスター患者インデックス) ソフトウェア、InterSystems HealthShare Patient Index を選択しました。

患者記録のマッチングの自動化と患者データの統合ビュー

Hunterdon の臨床医や他のスタッフは、現行の EMR や他の IT システムに満足していました。これらのシステムを、入院・外来の両方の患者ケアに対応する、単一の「万能型」EMR に置き換えることを推進する動きはなく、またそれだけの資金もありませんでした。かわりに Hunterdon は、HealthShare Patient Index を使用して、入院患者記録と外来患者記録間で同じ患者を特定するプロセスを自動化しました。一致した記録は、Hunterdon の長期的な HealthShare Unified Care Record の一部とすることができます。現在では、入院患者用 EMR を使用している臨床医が外来システムの患者データを閲覧する必要があるときや、外来患者の臨床医が入院患者のデータを必要とするときには、1 回クリックするだけで、綿密に整理された完全な記録を表示することができます。「病院の医師たちはこの変化を歓迎しています」と Patel 氏は述べています。「たとえば、先進疼痛管理外来センターから患者が入院する際に、病院の医師はその患者の投薬履歴の全体像をより容易に把握することができます」

ジョイントベンチャーの円滑な始動

Hunterdon の経営陣が、別の医療機関とのジョイントベンチャーによる放射線画像診断センターの設立を決定したときにも、この計画の実現要因として HealthShare Patient Index が活用されました。「先方の EMR と、当方のスケジューリングシステムや外来システムとの間でオーダーやスケジューリングのメッセージをやりする必要がありました」と Deal 氏は述べています。「HealthShare Patient Index がなければ、異なる患者 ID を持つ患者記録のマッチングは不可能だったでしょう」現在では、Hunterdon の患者は同センターの放射線サービスを利用できるようになり、画像や診断結果は 2 つの機関の間でスムーズにやりとりされ、それぞれの患者記録に保存されています。

¹ Hidden Costs of Duplicate Patient Records. Healthcare Financial Management Association, <https://www.hfma.org/topics/article/60322.html>.

患者情報の流れをアラートで改善

Hunterdon は、HealthShare Patient Index に加えて、別の製品、HealthShare Unified Care Record も使用し、外来 EMR システムである NextGen と入院患者システム間でリスクアラートを送信できるようにしました。たとえば、Hunterdon の先進疼痛管理外来センターの疼痛管理プログラムの治療を受けた患者は、NextGen に記録されます。HealthShare Patient Index は NextGen を監視してこのインジケータを探します。このインジケータが作成されると、HealthShare Patient Index は同じ患者が入院患者用 EMR に存在するかどうか判定します。存在する場合、疼痛管理のアラートが入院患者用 EMR に送信され、同じ患者が次回入院した際にこのアラートが適用されます。このアラートは ED システムにも渡されるため、ED の臨床医は患者の状態を把握することができます。その後、ED の臨床医は、HealthShare を使って、現在の投薬、オピオイドの使用、疼痛管理プログラムへの登録について記録することができます。「私たちがここで行ったことは、医療従事者に対する患者の信頼を高めることにつながり、また病院の内外でそれぞれの患者さんにとって最適な疼痛管理を行えるようにすることにもつながっています」と、Patel 氏は述べています。

大規模医療センターの機能を備える地域医療機関

「地域医療機関であり、教育実習病院でもある Hunterdon にとって、IT サービスのニーズは非常に高くなっています」と Deal 氏は述べています。HealthShare Patient Index や他の HealthShare ソリューションを活用することで、Hunterdon はこうしたニーズを満たし、患者が期待する大規模医療センターレベルの医療を、大規模センターよりも少ないスタッフと出費で実現することができました。「やるべきことはたくさんありますが、リソースは限られています」と Patel 氏は言います。「HealthShare Patient Index が患者情報の統合で重要な役割を果たしてくれたおかげで、私たちは複数の IT システムを入れ替えることなく情報の統合を達成できました」

「HealthShare Patient Index がなければ、異なる患者 ID を持つ患者記録のマッチングは不可能だったでしょう」

Hunterdon Healthcare、
データ統合担当マネージャー、
Robin Deal 氏

